



昭和支部報

HPアドレス <https://www.showa-z.com/>

令和5年11月1日
第290号

発行責任者 支部長 鈴木 寿枝
編集責任者 副支部長 赤堀 智信
発行所 名古屋税理士会昭和支部
印刷所 共生印刷株式会社



支部研修旅行(軍艦島にて)

ひまわり

9月に入り電柱の上から百舌の高鳴きが聞こえる。まだ真夏といってもいいほどに気温の高い今年の9月中旬ではあるが、冬鳥の百舌がやってきた。裏の池には何種類かの鴨が浮かび、いつの間にか燕の姿は消えている。

野鳥の渡りの季節になると古くからの友人の顔が思い浮かぶ。その友人の野鳥撮影は趣味の域を超えていて、渡りの季節ともなれば、大きな車にそれぞれ高級車が買えるほどのカメラ機材を積み込んで、何泊もしながら渡り鳥の撮影スポットを巡回している。このようにして撮られた写真の中から彼のお気に入りの1枚が新年の年賀状として毎年届くのである。

百舌といえば小さな猛禽類であり、孤高な性格の持ち主との印象であるが、反面人懐っこくて頭の良い野鳥ではないかとも思っている。趣味の農作業でエンジン音を響かせて草刈機を振り回していると、すぐ近くの木々の枝に百舌が止まる。おそらくエンジン音を合図に寄って来るのだ。気付かないふりをして草刈りを続ける。茂みから大きなバツが跳ね上がる。その瞬間、百舌は電光石火の早業でバツを空中キャッチして飛び去っていく。数年に一度の珍事ではあるが、賢い百舌には毎回感心させられる。

この時期、野鳥撮影の彼は仕事を投げ出して東奔西走しているはずである。今年の自慢の1枚は、新年のお楽しみである。(研修部 近藤 浩二)

研修部だより

研修報告

令和5年9月5日研修

令和5年9月5日に天白文化小劇場にて研修会が行われました。税理士の熊王征秀氏を講師に迎え「導入直前！インボイス制度の最終確認」というテーマで研修会が行われました。

令和5年10月12日研修

令和5年10月12日に天白文化小劇場にて研修会が行われました。名古屋商科大学大学院会計ファイナンス研究科教授 佐野哲哉氏を講師に迎え「近年の会計基準の開発について - 収益認識とリース-」というテーマで研修会が行われました。

研修案内

令和5年11月と12月に行われる研修の案内です。ぜひ研修会にご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

令和5年11月8日研修

○テーマ

「これだけは知っておきたい労働関係法の基礎知識」

○講師

社会保険労務士 小野田理恵子氏

○講師略歴

三重県出身 南山大学法学部卒

大学卒業後監査法人に勤務、その後公認会計士・税理士事務所にて補助業務、2004年「小野田社会保険労務士事務所（現、小野田社労士・FPオフィス）」開設

保有資格：特定社会保険労務士、CFP、高度年金・将来設計コンサルタント

○著書

株式会社社会保険研究所「note年金時代」にコラム「年金・税金 わたしの相談事例公開します シーズン2」執筆中

○研修内容

税理士の皆様は日頃顧問先から様々な質問を受けることと思いますが、顧客の側はそれが税理士の専門分野かどうかの意識は低く、相談内容は労務も含め多岐にわたるのではないのでしょうか。またご自身の事務所内の労務管理に悩まされることもおありかと思えます。

そこで今回の研修では、社労士の専門分野の中から労働基準法を中心に、これだけは押さえておいていただけたらという基本的な項目を、質問事例をもとに浅く広く解説したいと思います。

令和5年12月8日研修

○テーマ

「電子帳簿保存法の解説と実務対応」

○講師

税理士・公認会計士 佐久間裕幸氏

○講師略歴

1961年東京生まれ。

慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了。

中央監査法人にて監査業務を経験した後、税理士事務所開業。南山大学大学院教授、上場企業監査役などを歴任。

○著書

「国税庁Q & A対応 中小企業の電子帳簿サポートブック」

「Q & A 中小企業の電子取引サポートブック [インボイス対応版]」

「平成28年度改正対応 こうなる！国税スキャナ・スマホ撮影保存」(以上、ぎょうせい)

「顧問税理士も知っておきたい相続手続・書類収集の実務マニュアル」(中央経済社)

○研修内容

電子帳簿保存法を活用して、経理～決算～申告のペーパーレス化にどのように取り組んでいったらよいかをわかりやすく解説。インボイス導入を見据えた電子取引やスキャナ保存、電子帳簿についてメリット&活用法も解説。また、これらを税理士事務所の立場でどのようにサポートしていくかという視点から検討。



昭和4班

宇佐美 基彦

名古屋中支部から7月18日付で転入させていただきました宇佐美基彦でございます。今年の夏、日税連から30年表彰をいただきましたので、年数だけはベテランの部類ですが、日々未熟者を痛感している65歳です。

新事務所は瑞穂区の閑静な住宅街にある戸建て住宅です。両親が住んでいた空き家をリフォームしました。空き家対策も兼ねています。

事務所移転には大いに悩みました。住宅街なので近くにはコンビニぐらいしかありません。これまでは栄のど真ん中の交通至便なビルの一室で、周囲には何でもある所でしたので、関与先や職員に迷惑をかけるのではないかと心配しました。コロナ禍を契機に、それなりにリモート化・デジタル化を進めてきましたので、業務には支障がないはずと思いつつも確信が持てませんでした。

まだ2ヶ月なので良かったのか悪かったのか分かりませんが、通勤時間が大幅に短くなったことには助かっています。今まで40分だったところ今は10分なので、浮いた30分で朝の散歩の時間に余裕ができました。

私の日課は、1時間ほどをかけて、日の出前の涼しい時間帯に、天白川の堤防を散歩したり、自転車を飛ばしたりすることです。「健康のため」とか「ストレス解消のため」とかの生産的な目的はありませんが、もう何十年も続いているので、これが数少ない趣味かもしれません。

こんな私ですが、是非とも皆様のお仲間にお迎えいただきたく、何卒、よろしく願い申し上げます。



瑞穂2班

塩津 勝之

はじめまして。

このたび、名古屋中支部より昭和支部へ異動して参りました。

今年の夏は例年にも増して酷暑が続きましたが、だんだんと日の高さや空の色、風のおいや森の色など秋の足音を感じるが多くなり、ようやく待ち遠しかった季節の移り変わりを感じます。四季のある日本の良さを改めて感じております。

現在はインターネットの普及により、情報交換が活発となり、その匿名性の高さから、人々の本音の部分を簡単に再確認する事ができます。人々は、本質的な目を社会とのかかわりの中で、当然に向けてきます。

さらに、見回してみますと、新型コロナウイルスや昨今の不安定な世界情勢や世界の中での日本の立ち位置、AIの進化などによるライフスタイルや価値観の変化を通じ、我々を取り巻く状況は目まぐるしく変化しています。そんな時代にあって、私一人も携わる仕事を通じ、より信頼・信用というものを意識して、社会の中での自分の役割、与えられた使命をいまいちどよく考え理解したうえで、それを真摯に全うしていくことが、税理士の信頼性の確保につながるものと、そのような気がしております。今後も税理士の価値を毀損することの無いよう、日々励んで参りたいという所存でございます。



瑞穂12班

板屋 博和

昭和支部の皆様こんにちは。岐阜北支部から転入させていただきました板屋博和と申します。

この度、家庭の事情や自分自身の健康面の不安・高齢化等々ということもあり、自宅のある瑞穂区への移転を決意しました。

その健康面の不安はといいますとそれは突然やってきました。今から数年前の7月下旬のことです。酷く暑い最中にゴルフをして夕方に帰宅し、うす暗くなってからの犬の散歩を終えて一休みしていたところ、明らかに通常と比較して脈拍が早くなっていると感じたのです。

熱中症にかかったかなと思いましたが、プレイ中は水分補給を十分に行い、その対策も怠らなかつたので暫くすれば大丈夫だろうと横になっていました。しかし時間が経っても頻脈が一向に改善しないため、やむを得ずクリニックへ直行、そして総合病院へ検査入院の運びとなりました。

その結果、担当のドクターから心臓病関係の複数の病名を告げられるとともに、喫煙をはじめとする今までの不摂生な生活等がその原因である旨を指摘され、煙草なんぞはもつての外と即刻の禁煙を申し渡されました。

このため、今まで付き合いしていた煙草と泣く泣く別れた後は血液サラサラ関係の薬等との永い永いお付き合いが始まることとなり、その後暫くして脈拍数は通常に戻りました。

現在では、手頃な健康対策としてドクターからウォーキングを勧められたこともあり、2026年アジア競技大会のメイン会場となる、観客席が約3万席の計画で建設中の瑞穂公園陸上競技場等の山崎川周辺を中心にダイエットを兼ねたウォーキングを行い、「極力継続」をモットーに健康面の維持を図るように務めているところです。

皆様、どうかよろしくお願ひいたします。

各部紹介～広報部編～

・何を所掌している部？

1. 会報の発行に関する事項、2. 税理士制度の普及宣伝に関する事項、3. 支部会員の業務その他の広報宣伝に関する事項、4. 租税教育等の推進に関する事項を所掌しています。

2と3に関連して支部のホームページの管理をしていましたが、デジタルシステム委員会が出来たことにより、ホームページの管理も徐々にデジタルシステム委員会に移行していく予定です。また、4の租税教育等に関しては租税教育推進委員会が行っています。

・部長・部員さんはどんな仕事をしているの？

2か月に一回広報誌を発行しますので、原稿の校正、表紙写真の選択などを行っています。部長は紙面の割り付けなどにも携わります。編集後記を書きますが、現在の広報部は、各号につき1人が担当しますので、2年間の任期のうち1回のみ担当することになります。任期の最後の号は全員で書きますので、実質2回編集後記を書くことになります。

・部会の雰囲気は？

和気あいあいと原稿の校正を行っています。部会の終わりのほうに印刷会社との打ち合わせがありますが、打ち合わせは副支部長と部長で行うため、その間は楽しいおしゃべりタイムです。

・部に入ると何かいいことあるの？

文章の校正を行う際に、言葉の語尾や表現について検討しますので、文章作成能力の向上につながります。また、部会・懇親会を通して参加者と親睦を深めることができます。





橋部 吉輝

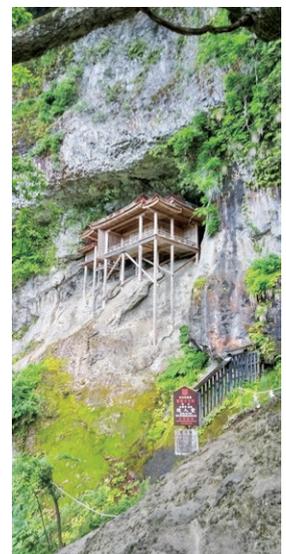
いつ以来か忘れてましたが、久々に原稿執筆の依頼を頂きました。お題は、過去に行ったおすすめの「旅行編」か「食事編」とのこと。食事に関しては、ビールのお供・栄養源の摂取くらいにしか考えてなく、豆腐であれば「冷や奴」、魚であれば「刺し身」で十分満足できる私にとっては、「食事編」との二択ではなく、「旅行編」の一択でしかありません。

今回おすすめするのは、今年の6月に一人旅で訪れました鳥取県の三朝温泉と三徳山三佛寺です。三朝温泉は、世界屈指のラジウム温泉です。高濃度のラドンを含んでおり、体に浴びると微量の放射線により細胞などが刺激を受けて活性化し、毛細血管が拡張し新陳代謝も促進して、自然治癒力を高めるとのことです。三徳川のほとりにある河原風呂は、24時間いつでも入れて、しかも無料の混浴露天風呂です。数メートル先には三朝橋がかかっております。多少の視線は感じますが、視線の先は私ではなく河原風呂と三徳川の風景ですので、視線を気にせず、自然の川の音、風、風景を感じながらゆっくり温泉を満喫できます。また地元の方々が日常的に使用しており、ふれあいもあり温かいです。

三徳山三佛寺は、神と仏の宿る山です。三佛寺本堂から山道を往復約1時間30分の登山をして、投入堂を参拝します。投入堂は、日本一危ない国宝？として話題を集め、一人での登山は禁止され（2022年6月に訪れたときは、コロナ禍もあり断念）、靴底チェックを受けて、NGの時はわらぞうりを購入着用しなければなりません。何も知らずに登り始めましたが、途中にはほぼ垂直の岩場を鎖のみを頼りに10メートルほど登らなければならない場所もあり、想像以上にハードな参拝でした。

文殊堂の縁側（幅約1メートル）で休憩しましたが、縁側の下は断崖で落ちたら命が危ないところで、登山の汗が引いて、冷や汗がでるほどです。また鐘楼堂があり、鐘をつくことができますが、険しい細い山道をどうやって運んだのでしょうか？ 山の上で作製されたのかもしれないですね。ゴールの投入堂では、なんともいえない佇まいに感動を覚えました。断崖で近づく道すらない垂直な崖に、建っているような浮かんでいるような投入堂でした。役行者が三徳山のふもとでお堂を作り、法力でお堂を小さくし、大きなかけ声とともに断崖絶壁にある岩窟に投げ入れたと言われたことから、投入堂と呼ばれるようになったと伝えられています。

三朝温泉は、8月15日に上陸した台風7号によって温泉街を流れる三徳川が増水し、名物の河原風呂が流されるなどの被害を受けましたが、9月上旬には復旧しています。皆さんも、三徳山三佛寺の投入堂で参拝し、いい汗をかいて、ゆっくり河原風呂に浸かってみてはいかがでしょうか？



支部研修旅行



また雨か…。今日も雨か…。雨男である私はこの日だけは晴れますようにと願い迎えた10月1日。

日頃の我慢我慢の生活が神様に認められたおかげなのかあんまり認められていないのか、昨日までの盛暑がうそのような肌寒いほどの涼秋の朝を迎え、「神様とりあえずありがとう」と急いでセントレアへ。

新型コロナウイルスが感染症上で5類に分類されたことで、昭和支部恒例の一泊研修旅行【福岡・長崎軍艦島を巡る旅】が4年ぶりに無事に復活開催された。

飛行機は定刻通りに中部国際空港を出発し、参加者43名（うち添乗員1名）の会員の皆様と、雲の上で晴れ良かったと安堵し、居眠りする雨男の夢を乗せて福岡空港へ無事に到着。

福岡空港を出て貸し切りバスに乗り込むとさっそく、平井先生プレゼンツ最高級ワインをかけたジャンケン大会が始まったが、厚生部員として参加をグッとこらえて我慢。空いたワインの瓶の香りだけを楽しんでいたら、優しい支部長から一口いただきエレガントな気分を満喫。

1時間のバス移動もあっという間に、最初の目的地である柳川藩主立花邸御花へ到着。昼食は名物のうなぎのセイロ蒸しを楽しみ、その後水の都柳川を納涼舟に乗り初秋の掘割の静けさを味わい格別の時間を過ごす。

ここから長崎へ向かい約2時間以上の長距離バス移動も、お酒の力を借りてZZZ。。。瞬く間に今回のお宿THE GLOBAL VIEW長崎へ到着。

身支度をして直ぐに夕食会場である長崎卓袱浜勝へ。和・華・蘭料理と言われるほど配膳や献立が独特で共時的。

従業員の方から、歴史文化の窓口として栄えてきた長崎街道の起点だった長崎では、当時貴重だった砂糖をふんだんに使うことが最上級のおもてなしだったと教わり、宴席に好まれる理由がよく分かった。

夕食の後は、モナコ・上海とならび世界新三大夜景とされる1000万ドルの夜景を巡り稲佐山展望デッキへ。鶴の港と称される長崎港を中心に、山々

が取り囲むすり鉢状の地形は立体的な光の空間を創り出し、長旅の疲れと不測の寒さを吹き飛ばすほどの感動を与えてくれた。

初日の最後は路面電車を利用して、長崎県出身の福山雅治さん御用達の思案橋ラーメンへ。ここは我慢せずニンニク増し増し爆弾ちゃんぽんを堪能した。

昨晚の疲れも臭いもなく2日目が始まる。バスガイドさんのテルテル坊主のおかげもあり天気は良好、メインイベントである世界文化遺産軍艦島へいざ出港。船の中からは三菱重工長崎造船所の第三船渠や停泊しているイージス艦・神の島教会・岬のマリア像などが視界に捉えられ日本の歴史をたどらずにはいられない。

上陸直前、船から島の全容を掴めたころ、船内アナウンスから数々の禁止事項が流れてきて緊張感が走る。

上陸すると錆びれて舗装された道に侵入禁止の柵があり、島というよりは要塞を思わせる特異な出立ちだった。

印象的だったのは第2見学広場。現存する廃墟化した建物ではなく、外海から島を守ってきた護岸と海底坑道が世界遺産登録の決め手になったこと。そして、今日の景色は次に来た時にはもう見れないこと。

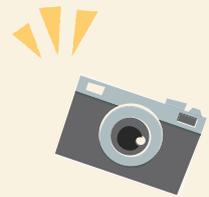
軍艦島を周遊して帰港すると昼食会場の長崎新地中華街の会楽園へ。軍艦島上陸までの禁酒と緊張感から解放されたせいか、あれよあれよという間に昼食を終え各々中華街を散策。

研修旅行の最終目的地である太宰府天満宮で家族の幸せと旅の無事を祈願し、ほぼ定刻通りに中部国際空港へ到着した。

晴天にも恵まれソフトボール雨男の汚名を返上することができました。

研修旅行も厚生部員としても初参加ながら皆様に助けられ、また常にインボイスとインバウンドの現況を知ることできた素晴らしい研修旅行となりました。有難うございました。

(厚生部 土本 勇気)



相談所だより



税務相談員

倉内 雄一郎

私は今年の4月から税務相談員として支部の相談所で活動しています。相談員になったきっかけは、懇意にさせていただいている先輩に勧められたからです。私の顧問先は個人事業主の方が中心ですが、先輩から「個人事業主の方へのアドバイスが得意なら、相談所で活動してみたらどう？ 良い経験になると思うよ。」と言われて、興味を持ちました。

相談所では、個人事業主の方だけでなく、サラリーマンや専業主婦の方など、様々な方からご質問を受けます。その中には、私も初めて聞くような内容もありますが、そういうときは他の相談員の先生や支部事務局に助けていただいたり、自分で調べたりして対応しています。

相談所での仕事は、おおむね毎月1回、午前10時～12時、午後1時～3時までの4時間です。その間に多いときは4人の相談者が来られます。相談者の方は予約制で、そのため30分以上かけてじっくりと話を聞くことができます。私はできるだけ相談者の方の話をよく聞いて、その方に合ったアドバイスをするように心がけておりますが、自身のお節介な性格により相談が長くなりすぎてしまうことも多々あります。相談者の方が帰られた後、(さじ加減を考えないとダメだよな...)と毎回反省しております。

相談者の方から受けるご質問は様々ですが、多いものは以下のようなものです。

- 毎月の資料および確定申告に必要な書類について
- 経費に関する範囲について
- 副業収入について

- 配偶者控除や扶養控除、青色専従者給与について

- インボイス制度および登録の選択について

これらの質問に対しては、基本的には法令や通達などを参照しながら回答しますが、場合によっては自分の経験や知識を活かしてアドバイスすることもあります。

例えば、副業収入に関するご質問では、「実際にどのような活動をされているのか」「どういう目的でその活動をされているのか」など、相談者の方の状況を確認して、所得区分や申告の要否などを判断することもあります。また、インボイス制度に関するご質問では、まずは基本的な消費税の計算方法を理解していただき、売上規模や業種・業態から鑑みて、経過措置等も含めた上で考えられる合理的な選択についてお伝えしました。

相談者の方から受けるご質問は単純なものばかりではなく、複雑なものや難解なものもあります。また、相談者の方は税務に関する知識が不十分な方が多く、基本的なことから丁寧に説明しなければならないこともあります。さらに、相談者の方は日々の会計処理や税務に関する不安や悩みを抱えている方も多く、ただ回答するだけでなく、心理的なサポートを必要としていることもあります。そのため、相談所での仕事は、税理士として高いコミュニケーション能力が求められるものだと感じています。

相談所での仕事は、私にとってとてもやりがいのあるものです。日々連絡を密にしている顧問先とは異なり、相談者の方から聞く話は、思いもよらない内容であることが多く、私自身の勉強になります。税務に関する最新の情報やトレンドを知ることができたり、自分の知らない分野やケースに触れることができたりします。そのため、相談所での仕事は、私の税理士としてのスキルや知識を向上させる機会でもあります。

相談員を担当させていただき、まだまだ不慣れなところもありますが、相談者の方に相談に来てよかったと感じてもらえるよう、今後も努力していきたいと思います。そして、支部や他の相談員の先生と協力しながら、より良いサービスを提供していきたいと思います。

同好会 だより ソフトボール同好会



9月23日、第16回名古屋税理士会親睦ソフトボール大会が開催されました。当日は暑い時間帯?で31℃ぐらいでしたが、風があるためそれほど暑さを感じることなく試合をすることができました。

第一試合は熱田支部と対戦です。内心、順当に勝てるかなと思っていたところ、甘かったです。すごい経歴の野球経験者の先生がいました。打った瞬間ホームランとわかるような打球で外野手もボールを追いません。また守備もすごくうまくて敵ながら天晴でした。昭和支部もピッチャーの今枝先生と長濱先生がナイスピッチングでしたが、味方のエラーが重なり、試合の流れを呼び込めず、結局16対5で負けてしまいました。

復活優勝を目指した第二試合の相手は中川支部です。ピッチャー山本がフォアボールで塁を埋めてしまい、長打やホームランを打たれ12対5で負けてしまいました。すいませんでした。

全試合を振り返り良いところを書けば、ホームランは山本、成田先生、河田先生が打ち、土本先生や神谷先生はパンチ力ある打撃で素晴らしかったです。守備ではサードを守っていた成田先生がジャンピングキャッチ(上記連続写真)で女性から「カッコイイ!!」と黄色い声援をもらっていました。

あとは、全員が怪我することなく終わることができて良かったです。

課題は守備だと思います。エラーが多いのです。(悪いピッチングをしたお前が言うなと言われそうですが…)試合の流れを掴む、また変えるには守備です。かといって守備は30代から練習したと

しても上手くはなりません。10代、20代前半でどこまで上手くなったかが大事です。私自身も高校生の頃と比べると随分守備範囲が狭くなったと感じております。体力や動体視力が関係しているのでしょうか。言い訳をすると雨天のせいで練習が度々中止となり、守備練習ができず、ぶっつけ本番となったからかもしれません。

今回原稿を書くにあたって、15年前に優勝し、最優秀選手賞をいただき、原稿を書いたときのことを思い出しました。当時の自分と比べると本当に打てなくなってきたと実感しております。

最後になりましたが、毎試合応援してくださった応援団また親睦ソフトボール大会を運営していただいた関係者の方々には、この場を借りてお礼申し上げます。(山本 篤典)



【9月の月例集会】

令和5年9月5日(火)

天白文化小劇場

(昭和税務署より連絡事項)

1. 令和5年分確定申告期における税務署の閉庁日対応の見直しについて
2. キャッシュレス納付の利用拡大等について

(支部より連絡事項)

研修部：今後の研修会予定について
 厚生部：支部研修旅行について
 総務部：今後の予定について

(研修内容)

テーマ：「導入直前!インボイス制度の最終確認」
 講師：税理士 熊王 征秀氏

【10月の月例集会】

令和5年10月12日(木)

天白文化小劇場

(昭和税務署より連絡事項)

1. 「年末調整のための住宅借入金特別控除証明書」の発送日について
2. 年末調整関係用紙の交付開始時期について
3. 文書回答手続きの利用促進について
4. 給与所得の源泉徴収票のe-Taxによる提出について
5. インボイス制度について

(支部より連絡事項)

研修部：今後の研修会について
 税対部：無料相談について
 厚生部：支部研修旅行について
 制度部：「令和5年度税務調査報告」及び「税務調査についての改善要望等意見」提出の最終案内のお願いについて
 総務部：今後の予定

(研修内容)

テーマ：「近年の企業会計基準の開発について」
 - 収益認識とリース -
 講師：名古屋商科大学ビジネススクール教授 佐野 哲哉氏

支部からのお知らせ

・11月月例集会及び研修会のご案内

日時：令和5年11月8日(水)
 13時30分より

場所：天白文化小劇場

研修会：テーマ「これだけは知っておきたい労働関係法の基礎知識」

講師：社会保険労務士
 小野田 理恵子氏

・12月月例集会及び研修会のご案内

日時：令和5年12月8日(金)
 13時30分より

場所：天白文化小劇場

研修会：テーマ「電子帳簿保存法の解説と実務対応」

講師：税理士・公認会計士
 佐久間 裕幸氏

※ZOOMウェビナーで同時配信予定

※月例集会のご案内はメール配信システムにおいて配信するとともにホームページにも掲載します。

※今後も様々なご案内をメール配信システムにてご連絡する可能性がありますので、未登録の会員の方は早急にご登録いただきますようお願い申し上げます。

尚、登録の方法がご不明な場合は支部事務局までお問い合わせください。登録方法をご案内いたします。

※月例集会等に関しましては、ハイブリッド(会場とweb配信の混合)で開催しておりますので、ご自身の体調やご都合に合わせてどちらかの方法でご参加ください。

編集後記

9月に入っても暑い日が続くなど感じていましたが、9月15日に名古屋市内で観測史上最も遅い猛暑日の記録を更新したそうです。そんな猛暑日の翌週にはソフトボール大会が開催されました。天候もよく風も涼しかったため暑さをそれほど感じずに試合をすることが出来ました。詳しくは同好会だよりをご覧ください。

10月に入り大分涼しくなってきたところ、見事に体調を崩しました。皆様も季節の変わり目にはお気をつけください。

(大澤 輝高)